

自己分析から課題設定を行い、
聞く力・話す力を育成する

1

本実践に関連する児童生徒の実態

対象 中学生

○課題

- ・自分のしたいことへの意識が強くなると、周りの人への意識が薄れ、他者の気持ちを考えた言動をとることが難しい。
- ・一度思い込んだことは、振り返りをさせても、修正することが難しい。

○強み

- ・指示されたことは熱心に取り組むことができる。

2

指導目標・指導仮説

教科等及び単元（題材）名

自立活動：修学旅行「みんなと一緒に活動して楽しもう」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）

相手の立場で考え、言葉を発したり行動したりすることができる。

指導仮説

修学旅行への取組の中で、日ごろの学習態度・生活態度をふまえて課題設定をさせれば、自分で意識して適切な言動を取ることができるだろう。

生徒の実態

3

指導仮説の具体的な内容と評価内容・方法

◆指導仮説の具体的な内容

修学旅行前にアンケートを取り、事前アンケートによる自己分析をふまえてそれぞれの活動内容に対して課題設定をし、事後のアンケートでの振り返りにおける自分の考え方の変化を意識させることで、適切な言動とは何かをとらえることができる。

◆評価方法（どのような方法で何を評価するか）

旅行前後のアンケートから自己設定した課題が解決したかを問い、修正すべき点はその後の学校行事や学年行事において適切な言動ができたかを評価する。

4

指導の実際① 修学旅行 事前アンケート

4 友達と一緒に活動する中で、自分が苦手としていることは何ですか。

人と作業を合わせることが苦手(先にやりたい)

5 班別行動で活動する際に、自分が気を付けるべきことは何ですか。

自分がダラけて行かないこと。

修学旅行を終えた後、あなたは友達との関わり方がどうなっていたと思いますか。

合わせること(業) (気持ちのコントロール)

・修学旅行の具体場面を想像させながら、集団行動における本人の課題設定を行った。

5

指導の実際② 目標設定の過程

・これまでの生活を振り返らせ、自分の苦手なことを捉えさせる。理由も含めて自己分析させる。

(自分のことに気付く)
思いついたことをすぐに発言・行動している。人に合わせて作業するのは苦手だ。先にやりたくなるんだ。

・自分の気持ちをコントロールするために、相手や周りに意識を向けることの大切であることに気付かせる。

(周りの人の気持ちに気付く)
思いついたことをすぐに発言・行動する前に、友達や周りの人はどんな気持ちか知るのは大切だ。

・修学旅行の班別行動(市内めぐり)、料理体験の場面を想像させ、行動目標を設定させる。

(自分の目標を設定する)
楽しい修学旅行にするために友達や旅行先の人とどのように関わったらいいかな。

6

指導の実際③

修学旅行 事後アンケート

個別行動で活動する際に、自分が気を付けるべきことは意識して行動できましたか、意識したことに照れがちな者へ教えてください。

自分勝手走っていたのは無かった。目標達成の為に、無理難題で、グループの中で活動する際に自分が気を付けるべきことは意識して行動できました。意識したことに照れがちな者へ教えてください。

インストラクターさんの指示とおも行動できた。

修学旅行を終えた後、あんなに友達との間が何を感じたように感じたか。

人との接し方。相手の様子を見て行動する。

- ・相手や周りの様子を見て、歩調を合わせて行動したことなど目標を意識した行動について自己評価させた。

7

実践前後での児童生徒の変容

実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> ・会話の内容が、その時自分の興味があるものに偏りがちである。 ・相手がどれだけの情報を持っているのか気にせず話を進めてしまう。 ・その場で思ったことを言葉にしてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話で「これは知らない？」と相手の状況把握をしようとする発言が聞かれるようになった。 ・自分の言葉を相手がどのように受け取るかを、その場で判断できなかったが、時間をかけて個別に指導すると理解できた。

8

評価

- 生徒は目標を達成したか。
 - ・概ね達成した。
- 判断の理由・根拠
 - ・相手の状況を把握しようとする発言をするようになった。友達と会話をする中で相手意識を持つことはできるようになった。発言内容や行動が適切でないことがある。
 - ・話を聞き逃し、勝手に物事が進んだと思い込んだために、友達に対しての言葉遣いや態度が悪くなるがあった。

9

指導仮説の検証

- 指導の成果
 - ・修学旅行を題材にすることで、本人が嫌がることなく取組を進めることができた。
 - ・自分で設定した課題のため、活動中は自分の注意すべきことを意識して行動することができていた。
- 課題
 - ・課題設定の際、もっと本人と話を細かく自己分析させる必要がある。
 - ・今回の活動で学んだことを日ごろの学校生活の中で生かすことが出来ていない。

10

指導の改善案

- 成果・課題を踏まえた改善案
 - ・課題設定の際、行動と理由を細かく自己分析させることで更に効果のある取組内容にする。
 - ・人との接し方に視点を置いたアンケート項目を作成し、振り返らせることで、自分で課題に気付かせ、以後の学校生活の中で生かせるようにする。
 - ・今回の活動で学んだことを日ごろの学校生活の中で生かすことが出来ていないため、スモールステップで段階的に習得できるものにし、ロールプレイなどを行って汎化させる。

11